

法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり 空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業

発表資料

（庄原市空き家解決専門家ネットワーク）

課題	・各士業が単独で空き家問題を解決することと、行政版空き家バンクの限界 ・相談員不足と専門業者の不在
目的	・各士業が協力し、行政と連携してワンストップで対応する空き家対策執行体制の整備 ・空き家問題に取り組む官民の相談員のレベルアップ ・空き家に対する市民の意識改革 ・他の自治体、空き家解決解決団体のレベルアップ
取組内容	・専門家と行政・後援団体の連携体制の構築、広報強化 ・相談員の人材育成（行政向けセミナー、コンサルティング、相談） ・市民向け、福祉関係者向けのセミナー及び無料相談会の開催 ・先進地視察、他自治体や他団体情報交換・ノウハウ伝授
成果	・専門家と行政、後援団体のネットワークを設立 相談者108人、相談件数147回→適正管理20件、除却1件、流通・利活用8件、予防による解決、2件、解決中48件（令和4年1月24日現在） ※当団体は事業1・事業2双方の事業を行っているので、両事業の合算した数字となる。 ・空き家対策執行体制を確立し、専用ホームページを運営 ・行政及び空き家相談員向けセミナーの実施（10回）（参加者168人） ・行政及び空き家相談員に対する専門家のコンサルティングの実施（13回） ・市民向けセミナー（全3回参加者50人）及び無料相談会（全3回参加者27人）の実施 ・福祉関係者へ空き家予防のセミナーの実施（4回）（参加者98人） ・県内他の自治体・解決団体への波及のためのセミナーの実施（1回）（参加者44人） （広島県内のすべての市町の空き家相談員へセミナー実施） ・先進地視察の成果による空き家対策執行体制の確立

法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり 空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業 (庄原市空き家解決専門家ネットワーク)

発表資料

課題	・各士業は分野別で、単独では全ての相談に対応できない ・中立公平性や専門性・難解さによる行政版空き家バンクの限界
目的	・各士業が協力し、チームとして空き家問題に取り組む ・行政と連携し、ワンストップで対応する相談機関の整備
取組内容	・司法書士・行政書士・宅建士等専門家と行政、後援団体の連携体制の構築 ・地元新聞、行政の広報、広告、SNS、HP等の広報を強化
成果	・<u>専門家と行政、後援団体のネットワークを発足</u> ・自主財源確保の取り組み (正会員8社、賛助会員4社) ・今年度の実績により、 <u>次年度の事業受託予定</u> ・<u>専用ホームページの運営</u> ・専門家による無料法律相談 ・行政職員の問題解決力の向上

中国新聞 R3.8.27朝刊

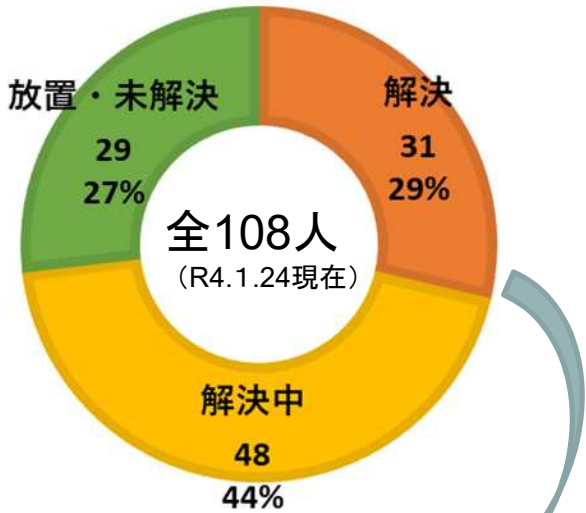


法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり
空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業
(庄原市空き家解決専門家ネットワーク)

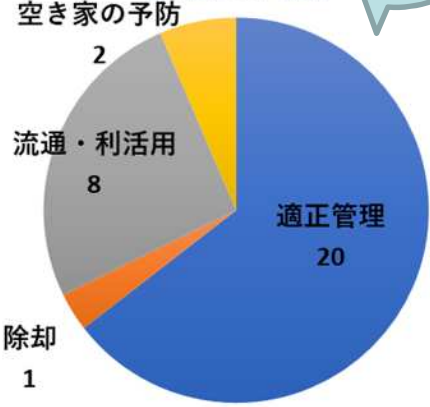
専門家と行政、後援団体のネットワーク



相談対応の結果



解決の内訳



専用HP開設



※事業1・事業2の合算した数字

**法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり
空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業
(庄原市空き家解決専門家ネットワーク)**

発表資料

課題	・相談件数の増加に伴う相談員の不足 ・空き家の収益性の低さによる専門業者の不在
目的	・相談員のレベルアップ ・空き家を未然に防ぐための市民の意識改革
取組内容	・関係者へセミナー実施及び相談員の人材育成 ・行政、住民自治組織・市民活動団体等へのコンサルティング ・市民セミナーや無料相談会の実施 ・将来の空き家を防ぐため、福祉関係者へのセミナー実施
成果	■ 空き家相談員向け ① セミナー 全10回（参加者 全168人） ・放置した時の法的整理 ・当団体の空き家問題解決スキーム ・法律、税務、登記、測量等の知識 ・具体的な解決事例紹介 ② 相談員へ専門家派遣（直接的に支援） 全13回 ■ 市民向け ・セミナー 全3回（参加者 全50人） ・無料相談会 全3回（相談者全27人） ■ 社会福祉協議会職員及び福祉関係者向け ・セミナー 全4回（参加者 全98人） 

法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり
空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業

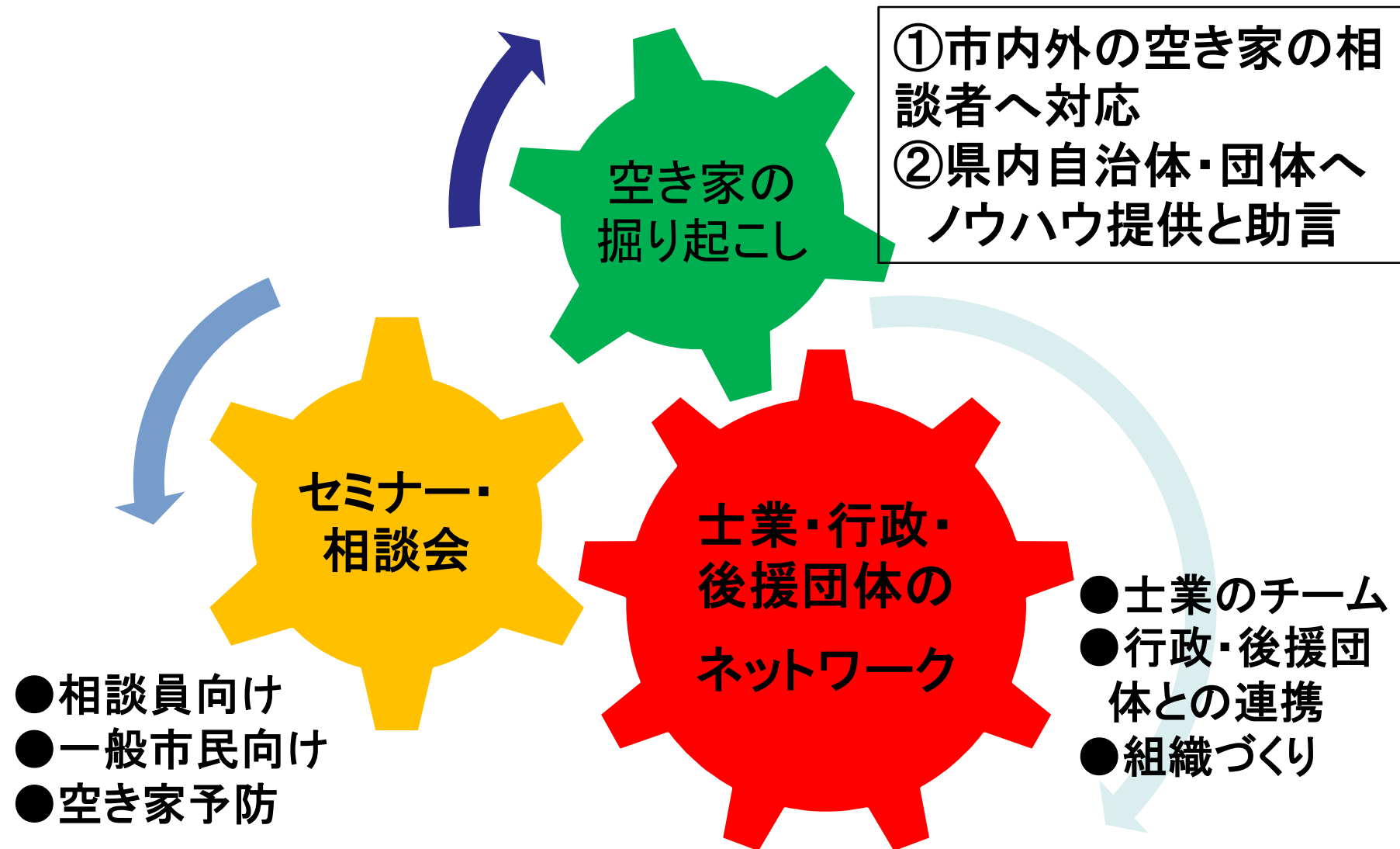
発表資料

(庄原市空き家解決専門家ネットワーク)

課題	・空き家問題相談件数の増加
目的	・空き家対策の執行体制の整備 ・空き家問題解決団体の全国的なレベルアップ
取組内容	・先進地への視察研修 ・他の自治体及び他団体への情報交換及びノウハウ伝授
成果	・ <u>先進地視察の成果による空き家対策執行体制の確立</u> →仕組みづくり、組織運営や資金確保のノウハウを学び、専門家や行政等の後援団体が所属するネットワークを完成 ・ <u>広島県全域の行政等空き家担当者へのセミナー実施</u> →広島県と連携。県内全市町行政の空き家担当職員に対し、団体の取り組みと仕組みづくりのノウハウを拡散(全1回参加者44人) ・ <u>庄原市外自治体職員・空き家解決団体へコンサルティングの実施</u> →広島県内の他市自治体職員や空き家解決団体を支援

法務・不動産・金融の専門家ネットワークを発足し、官民が一丸となり
空き家問題を円滑に解決し、空き家相談員を育成する事業
(庄原市空き家解決専門家ネットワーク)

発表資料



事業名称を記載（事業主体名を記載）

発表資料作成あたっての留意事項

課題	任意の事業名称（※住宅市場を活用した空き家対策モデル事業ではない。事業報告書記載の事業名称と揃える）と、（ ） 内に事業主体名を必ず記載してください。
目的	※各項目について、簡潔に記載してください。 ※表や文字のサイズは適宜変更してかまいませんが、この表のみのスライドにならないようにしてください。
取組内容	
成果	

※取組内容の詳細や成果（物）の内容などについて、各団体の取組内容に即して工夫の上、図表や写真を交えて記載してください。

※取組の特徴となる部分や取組効果など、貴団体の取組のアピールポイントとなる部分をメインに記載してください。

※添付又は作成する図表や写真、文字の大きさは自由ですが、内容が第3者にも伝わる大きさとしてください。

※本資料は発表時に画面に投影するようにしてください。動画配信時にはHPでも期間限定で公開します。

※zoomの動画作成方法参考URL: <https://media.tebiki.jp/022>

⇒画面共有で発表資料スライドを見せ、自分のカメラ画面は最小化して画面全体の端に映すイメージです。

※A4用紙1枚～6枚に収まるように要点を簡潔に記載してください。

※完了実績報告時には、当該様式を使いA4用紙1枚に収めていただく必要があります。

完了実績報告書類の過去の参考例は国土交通省ホームページ

(https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000062.html)をご参照ください。